

順天堂大学練馬病院ニュース



地域の皆さまに愛される
高機能病院として
がんばります。
何なりとご相談ください。



教授就任と診療科紹介

病理診断科 小倉加奈子

2024年5月より病理診断科の教授に就任しました、小倉加奈子です。私は練馬で生まれ育ちまして、地元でかつ、母校の附属病院に長く勤務させていただいてきましたことを幸せなことだと思っております。



病理医は、がんをはじめとした病気の診断を専門とする医師です。手術で摘出された臓器の一部をメスでサンプリングしたり、顕微鏡でがん細胞を観察したりしています。直接、病気になった部分の細胞を観察して下される病理診断は、「病気の最終診断」と言われています。患者さんにお会いして病理診断を直接お伝えするようなことはめったにないことから、なかなかその存在を知っていただく機会がないのですが、私たち病理医は、患者さんの「もうひとりの主治医である」という気持ちで仕事をしています！

病理診断では、その病気が良性であるか悪性であるかだけでなく、悪性であればどのくらい悪いのか、そして、どんなお薬が効くのか、ということまでわかります。特に抗がん剤は、高価でかつ副作用もありますから、治療前に病理検査においてその効果を予測することが大変、重要です。

当院の病理診断科は、6名の病理医が所属しており、様々な診療科の先生方と密に連携を取りながら病理診断を行っています。適切な病理診断を行い、患者さんが安心して診療を継続できるようこれからも病理医一丸となって精進しますので、今後ともよろしくお願いいたします。



病院機能評価 Ver.3 に認定

病院機能評価準備委員会 委員長 下 泰司

当院は、2024年2月8日、9日の2日間、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。これまで2008年から5年ごとに受審しており、常に一般病院2のカテゴリーで「認定病院」として認定されていました。今回のVer.3の評価でも無事に認定を受けることができました。これにより、患者さんに安心して当院の医療を受けていただけることが客観的に証明されたこととなります。

今後も当院では病院機能の質を改善する活動を継続してまいります。よろしくお願いいたします。



星の数はこれまで認定された回数を表しています。



病院機能評価は患者さんが安全で安心な医療が受けられるように、第三者により病院の運営、管理、提供される医療についてなど、病院の全体的な機能について客観的な評価を受けるものです。



熱中症にご注意を！

救急・集中治療科 下澤新太郎

今年の夏も猛暑が予想されていますが、皆さま熱中症対策はいかがでしょうか？近年、夏の暑さは厳しさを増しており、熱中症への注意がますます必要になっています。



熱中症は周囲の温度が高いことや、熱を体外に排出できず体温が上昇することで起こります。特に、お子さんやご高齢のかたでは体温調節機能が未熟または低下しているため、早めの対策が重要です。室内外関係なく熱中症になることがありますので、室内ではエアコンなどを使用して温度を調整し、十分な水分補給を心がけましょう。熱中症の予防には塩分などの電解質や糖分を含んだ水分補給をすることが重要です。スポーツドリンクや経口補水液を飲むことで、汗で失われたナトリウムやカリウムを補うことができ、脱水症状の予防に効果的です。

この夏も適切な対策を講じて、健康に過ごせるようにしましょう。ご家族やご友人と一緒に声を掛け合って、以上のポイントを参考に熱中症にならないよう心がけてくださいね！

❖ 扇風機やエアコンで温度をごまめに調節

❖ 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用

❖ 外出時には日傘や帽子を着用

❖ 天気のよい日は日陰の利用、ごまめな休憩

❖ 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用

❖ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

⚠️ 『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

🚰 **ごまめに水分を補給する!**

❖ 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくてもごまめに水分・塩分などを補給

厚生労働省資料より

院内救急車の役割

1. 救急車としての役割

通常時は病院間の患者搬送（転院搬送）を行う。

主に当院からの下り搬送（救命救急センターから一般病院への患者搬送）に使用。医師と救急救命士が同乗して運用している。

2. 除染医療車としての役割

除染車としてシャワー設備を搭載している。

NBC災害*現場で被ばくした傷病者に対して除染を行い、病院へ搬送する。当院へ搬送された薬物暴露等の患者に対する除染。

3. DMAT CARとしての役割

震災など災害発生時にDMAT（災害派遣医療チーム）派遣用の車両として活用。

*NBC災害とは核 (nuclear)、生物 (biological)、化学物質 (chemical) による特殊災害のこと



認知症施策の連携、 自殺未遂者等支援事業に関する協定締結

3月27日（水）に地域医療施策への協力の一環として「認知症施策の連携」及び「自殺未遂者等支援事業」の運営に関する協定を練馬区と締結しました。認知症施策では、区が実施する検診において、認知機能低下などにより、更に詳しい検査や診断が必要な患者さんを受け入れるなど連携した取り組みを行います。自殺未遂者に対する支援については、自殺企図で当院に搬送された方やそのご家族の相談に応じ、関係機関に繋ぐなどの支援を行います。

Interview 助産師

今回は当院で働く
助産師の根來主任に
お仕事内容について
教えてもらいました!



助産師とは どのような資格ですか?

妊娠、出産、産後の女性とご家族や赤ちゃんのケアなど、女性の生涯を通じた健康を支援する専門職です。

普段注意していることは?

母児共に安全なお産を目指し、産む力、産まれる力を最大限に引き出せるよう産婦さんにご家族に寄り添っていきたいと思っています。

お仕事の内容を 教えてください

入院中の妊婦さん・赤ちゃんの観察やお産の介助が主な仕事です。また、外来での妊婦健診、産後健診も担当しています。2021年より産後ケアを開始し、退院後のお母さんと赤ちゃんの支援も行っています。

患者さんにひとこと!

皆さまが安全に出産を迎え、赤ちゃんとの生活を安心して過ごすことができるよう、私たちがサポートさせていただきます。



沐浴指導



授乳をサポートします

第17回軽井沢セミナーについて

職員課

2024年6月14日（金）～15日（土）にかけて、練馬区立少年自然の家「ベルデ軽井沢」を会場に「第17回軽井沢セミナー」を開催いたしました。本セミナーは当院の新入職員（臨床研修医、看護師、技師、事務職員など）の教育の一環として行われるセミナーで、練馬区と共催で毎年開催している一大イベントです。新入職員の外、指導スタッフも含めて総勢200名が参加し、1日目には全体講習や交流会、2日目には職種ごとのレクチャー・グループワークなどを行いました。いつもとは違った環境で研修を行うことで心身ともにリフレッシュをすることができ、また職種の垣根を越えて親睦を深められました。

この軽井沢セミナーを通して、より一層「チーム練馬」としての団結が高まりました。



暑さを乗り切る食事 ～健康を意識した食生活～

栄養科 管理栄養士 山内真由美

暑い夏が続くと冷たいものが多くなったり、簡単な食事ですませてしまうことがありますか？食事が偏るとビタミンやミネラルの不足を招き、食欲がなくなり夏バテの原因になります。疲れを残さず夏を元気に乗り切るためには、量より**“質”**を意識した食事がとても大切です。

“質”を上げる工夫



メニュー例:具材たっぷり麺

夏は麺類やご飯の炭水化物をエネルギーに変えるビタミンB1を積極的にとりましょう。
また旬の野菜を利用して栄養価も美味しさもパワーUPさせましょう。

疲労回復食材

ビタミンB1がおすすめ



旬の野菜

夏野菜には驚くべきパワーがいっぱい

トマト:主にリコピンとビタミンCが含まれ疲労回復や抗酸化作用があります。
ナス:ナスの皮にはアントシアニンがあり、抗酸化力と皮膚や目の健康保持に期待できます。
とうもろこし:葉酸が多く含まれ、タンパク質の合成に関わり新しい細胞をつくる役割を担ってます。

区民健康医学講座のお知らせ

7月・9月(8月休会)

開催日時は**土曜日14時**から
会場+Webで開催

7/27

Sat.

演題:ワクチン接種と感染予防
～赤ちゃんからシニアまでの最新情報～

講師:小児科 准教授 鈴木恭子

9/28

Sat.

演題:体重コントロールをどう考えますか?
～食事療法の見直し～

講師:栄養科 管理栄養士 佐藤理恵子



順天堂大学医学部附属練馬病院
広報誌「順天堂大学練馬病院ニュース」

第89号 2024.7
編集・発行 地域医療連携室
〒177-8521 東京都練馬区高野台3-1-10
電話 03-5923-3111
URL <https://hosp-nerima.juntendo.ac.jp>



順天堂練馬病院
ホームページ